

# 令和2年度（2020年度）学校自己評価表

天草市立本渡看護専門学校  
令和3年3月

## 1 学校の教育目標

1. 心豊かで円満な人間性を養うことができる。
2. 生命の尊厳と個々の人格を尊重する態度を養うことができる。
3. 対象である人間を総合的にとらえ、看護上の問題が解決できる能力を養うことができる。
4. 保健医療チームの一員として、看護職の果たす役割と責任を自覚する。
5. 専門職として常に問題意識を持ちつつ、生涯を通して学習に努め、看護を探究する姿勢を養うことができる。

## 2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

令和2年度目標 コミュニティ・ナーシングスクール（community nursing school）～地域と共にある学校づくり～  
○新型コロナウイルス感染症拡大への防止を図り、学生が単位修得できる環境を整える。  
◎目標Ⅰ 卒業生の市内医療機関等への就職率向上（令和2年度目標44%以上）  
Ⅱ 国家試験合格率（100%）

## 3 評価項目の達成及び取組状況

適切…4、ほぼ適切…3  
やや不適切…2、不適切…1

### (1) 教育理念・目標

評価項目	自己評価
・学校の理念、目的、育人人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	3.9
・学校における職業教育の特色は何か	3.8
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.7
・学校の理念、目的、育人人材像、特色、将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3.1
・各学科の教育目標、育人人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.6

### 取組みの概要及び今後の課題

・教育目的「看護に関する基礎的な知識、及び技術を習得し、人間性を高め、主体的学習態度を養い、地域の保健医療に貢献できる看護師を育成する。」ことを全職員が意識し、①卒業生の市内医療機関への就職44%（2021年）、②国家試験合格率100%となるように取り組んだ。  
・今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によって、学生の学習への影響が懸念されたが変更等しながら、年度内の学生が履修すべき科目は教授できた。今後はより個別指導を充実し看護学生の育成する。

## (2) 学校運営

評価項目	自己評価
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.7
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.7
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3.7
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	3.7
・教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3.7
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3.5
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3.1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2.5

### 取組みの概要及び今後の課題

- ・運営会議(6月)、職員・教務会議(適宜)、新カリキュラム会議(2回/月)の開催を行った。
- ・学則・細則・内規等は次年度入学生用作成時に見直しを行った。
- ・防火計画に基づき防火訓練実施。(6月)
- ・セクシャルハラスメントの防止・対応、個人情報保護規定を学生便覧に明記している。
- ・定期的に学生相談室を開室し、メンタルヘルスケアへ努めた。
- ・R元年度から計画していた30周年記念事業は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため記念式典を中止したが、同窓会の協力を得て記念誌と記念品は関係者に配布した。

### (3) 教育活動

評価項目	自己評価
・教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針等が策定されているか	3.6
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.5
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3.7
・キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫、開発などが実施されているか	3.3
・関連分野の企業、関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が行われているか	3.4
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技、学習等）が体系的に位置づけられているか	3.3
・授業評価の実施、評価体制はあるか	2.7
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	2.7
・成績評価、単位認定、進級、卒業判定の基準は明確になっているか	3.7
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.7
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.2
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3
・関連分野における先端的な知識、技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3.3
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	3.3

取組みの概要及び今後の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により、R2. 4.8～5.7を臨時休業。その後、5.8～5.15を遠隔授業、5.18～を対面授業再開(時間差登校)とした。</li> <li>・講義においては、教室の3密を考慮して環境調整をしたり、講師の希望に応じて遠隔授業を取り入れた。</li> <li>・卒業判定・進級判定を実施。なお、成績不良者においては、個別での対応をした。</li> <li>・今後は効果的な教授方法を追究するためにも、外部評価における評価を取り入れていく必要がある。</li> </ul>

#### (4) 学修成果

評価項目	自己評価
・就職率の向上が図られているか	3.7
・資格取得率の向上が図られているか	3.6
・退学率の低減が図られているか	3.5
・卒業生、在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.2
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2.9

#### 取組みの概要及び今後の課題

・R3年度の市内就職率は44%の目標を大きく上回り、51.2%(20名)となった。この理由として、天草市奨学金、実習先病院のよさ、新型コロナウイルス感染症の影響で県外への希望者が少なかったことが考えられた。

・他の卒業生においては、熊本県内8名・九州内4名・九州外5名であった。進学者2名(助産学科)。

#### (5) 学生支援

評価項目	自己評価
・進路、就職に関する支援体制は整備されているか	3.6
・学生相談に関する体制は整備されているか	3.5
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.8
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
・学生の生活環境への支援は行われているか	3.6
・保護者と適切に連携しているか	3.3
・卒業生への支援体制はあるか	3.4
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3.3
・高校、高等専修学校等との連携によるキャリア教育、職業教育の取組が行われているか	3.1

#### 取組みの概要及び今後の課題

・担任制をとっており、学生の相談の窓口となった。また、学校相談室での相談をできる体制をとっている。

・就職・進学担当もおり、就職・進学セミナーを2年次より開催し学生へ関わった。

・R2年度は、Web受験も始まり事前に学内で指導を行い学生は試験に臨んだ。

・R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響にて学生の生活も困窮することが予想され、全学生に対して後期授業料を免除した。

・国・県からの学生への支援に対してスピーディーに対応し支援につないだ。

・同窓会に会議場所を提供し、学校での会議が開催され、より情報共有と学校への協力が得られた。

## (6) 教育環境

評価項目	自己評価
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.7
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3.2
・防災に対する体制は整備されているか	3.8

### 取組みの概要及び今後の課題

- ・新型コロナウイルス感染症の影響にて対面授業の講師の大半は医療従事者であり、教室の環境整備が求められた。
- ・体育館・実習室・教室(2か所を1か所)、消毒液の設置、非接触性体温計設置の工夫。
- ・1ベッド当たり11㎡以上の広さの確保のため実習室改修。
- ・進路室、印刷室の改修。
- ・学生への一斉配信メールができるよう事前に確認し、大雨や積雪による休講のお知らせや新型コロナウイルス感染症へも随時注意喚起した。
- ・避難訓練の実施の災害対応マニュアルを作成し、教職員及び学生と共有した。

## (7) 学生の受入れ募集

評価項目	自己評価
・学生募集活動は、適正に行われているか	3.9
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.6
・学納金は妥当なものとなっているか	4

### 取組みの概要及び今後の課題

- ・推薦指定校を訪問し、学校案内パンフレットや募集要項の説明、また卒業生進路先や国家試験合格状況等の説明を行なった。
- ・令和3年度入学生から開始する地域特別枠推薦について、本校受験実績のある各高校に対し、募集要項等の送付を行うとともにホームページにも掲載し、入学生の確保につなげた。
- ・中学校卒業後、看護系高校へ進学する生徒がいる現状を踏まえ、市内校長会や各中学校に出向き、中学卒業後の進路選択のひとつとして本校を検討してもらうよう学校の紹介を行った。
- ・学納金が県内でも最下位となっており、経済的負担が少なく学べる環境となっている。

## (8) 財務

評 価 項 目	自己評価
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
・予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
・財務について会計監査が適正に行われているか	4
・財務情報公開の体制整備はできているか	4

### 取組みの概要及び今後の課題

・公立であるため、財務基盤は安定している。予算や収支計画、会計監査、財務情報公開も市のルールに基づき行われている。

## (9) 法令等の遵守

評 価 項 目	自己評価
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.9
・個人情報に関し、その保護のための対策がとれているか	3.9
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.5
・自己評価結果を公開しているか	3.2

### 取組みの概要及び今後の課題

- ・学則の点検をしながら、学校運営を行った。
- ・組織内でアクシデント時の教員の情報共有や対策実施した。
- ・R2年度から自己点検・自己評価を作成した。
- ・専任教員の充足にむけては今後も継続し確保していく。

## (10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	自己評価
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献、地域貢献を行っているか	3.4
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.7
・地域に対する公開講座、教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3.1

### 取組みの概要及び今後の課題

- ・新型コロナウイルス感染症の影響にはR2年度はボランティア募集がなく、学生・教職員が活動する機会が少なかった。
- ・中学生に職業講話する機会があり、地域貢献の場となった。

## 4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p>令和2年度目標 コミュニティ・ナーシングスクール（community nursing school）～地域と共にある学校づくり～</p> <p>学生・職員のボランティア参加が少なかったが、R3年度は新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら参加していきたい。学生に「多くの方へ支えられて暮らしている」ことを実感し、感謝の気持ちを持つことのできる学生を育てたい。また、参加することで地域の魅力を再確認でき、市内就職率を向上できるようにつなぎたい。次年度においても、継続していく。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症拡大への防止を図り、学生が単位修得できる環境を整える。病院・施設での実習のある専門学校においてワクチン接種は求められるが、健康管理のできる学生を今後も育てていく。</p> <p>◎目標Ⅰ卒業生の市内医療機関等への就職率向上（令和2年度目標44%以上） 市内の就職率をR2年度はも、目標達成できた。次年度においても市内奨学金について学生へ情報提供や医療機関に魅力を学生へ伝える。</p> <p>Ⅱ国家試験合格率（100%） 1年次からの取り組み、3年次からの個別支援を実施している。学生の個別支援への強化が求められる。 ○創立30周年記念事業には式典・講演を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響にて実施ができなかった。講演は、学生にとって「看護」を深める機会であったため、今後もいろいろな場で学生へ教授していきたい。</p>
---